

## 平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 7 月 30 日

 上場会社名 **株式会社 JALUX** (ジャルックス)  
 コード番号 2729

 上場取引所 東証一部  
 URL <http://www.jalux.com/>

 代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 岡崎 俊城  
 問合せ先責任者 役職名 企画部長 氏名 城島 義之 TEL (03) 5460 - 7233

(百万円未満切り捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

### (1) 連結経営成績

	売上高		営業利益		経常利益		四半期 (当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 3 月期第 1 四半期	27,954	9.7	412	28.1	399	36.0	115	49.1
19 年 3 月期第 1 四半期	25,476	11.3	573	48.1	624	55.0	227	78.4
(参考) 19 年 3 月期	114,133	5.7	3,246	32.8	3,516	9.4	1,579	6.5

	1 株当たり四半期 (当期) 純利益		潜在株式調整後 1 株 当たり四半期 (当期) 純利益	
	円	銭	円	銭
20 年 3 月期第 1 四半期	9	06	-	-
19 年 3 月期第 1 四半期	18	02	-	-
(参考) 19 年 3 月期	124	01	-	-

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しています。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
20 年 3 月期第 1 四半期	42,632	15,174	33.6	1,121	75
19 年 3 月期第 1 四半期	37,233	13,969	35.3	1,031	29
(参考) 19 年 3 月期	42,345	15,515	34.4	1,142	19

## 2. 配当の状況

	1 株当たり配当金	
	円	銭
20 年 3 月期第 1 四半期	-	-
19 年 3 月期第 1 四半期	-	-

## 3. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)

( % 表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率 )

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	59,000	10.1	1,500	7.1	1,550	5.5	700	12.2	54	86
通 期	120,000	5.1	3,500	7.8	3,700	5.2	1,850	17.1	144	98

平成 19 年 5 月 8 日に発表いたしました当初の業績予想と変更はありません。

上記の予想は、作成時点においての経済環境や事業方針などの一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績は様々な要素により、これらの見通しとは異なる結果となる可能性があります。

## 4. その他

期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は、7 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期(平成 19 年 4 月 1 日から同 6 月 30 日まで)は、一般消費動向など総じて堅調な事業環境のもと、航空関連、生活関連、顧客サービスの各セグメントとも概ね順調に推移いたしました。

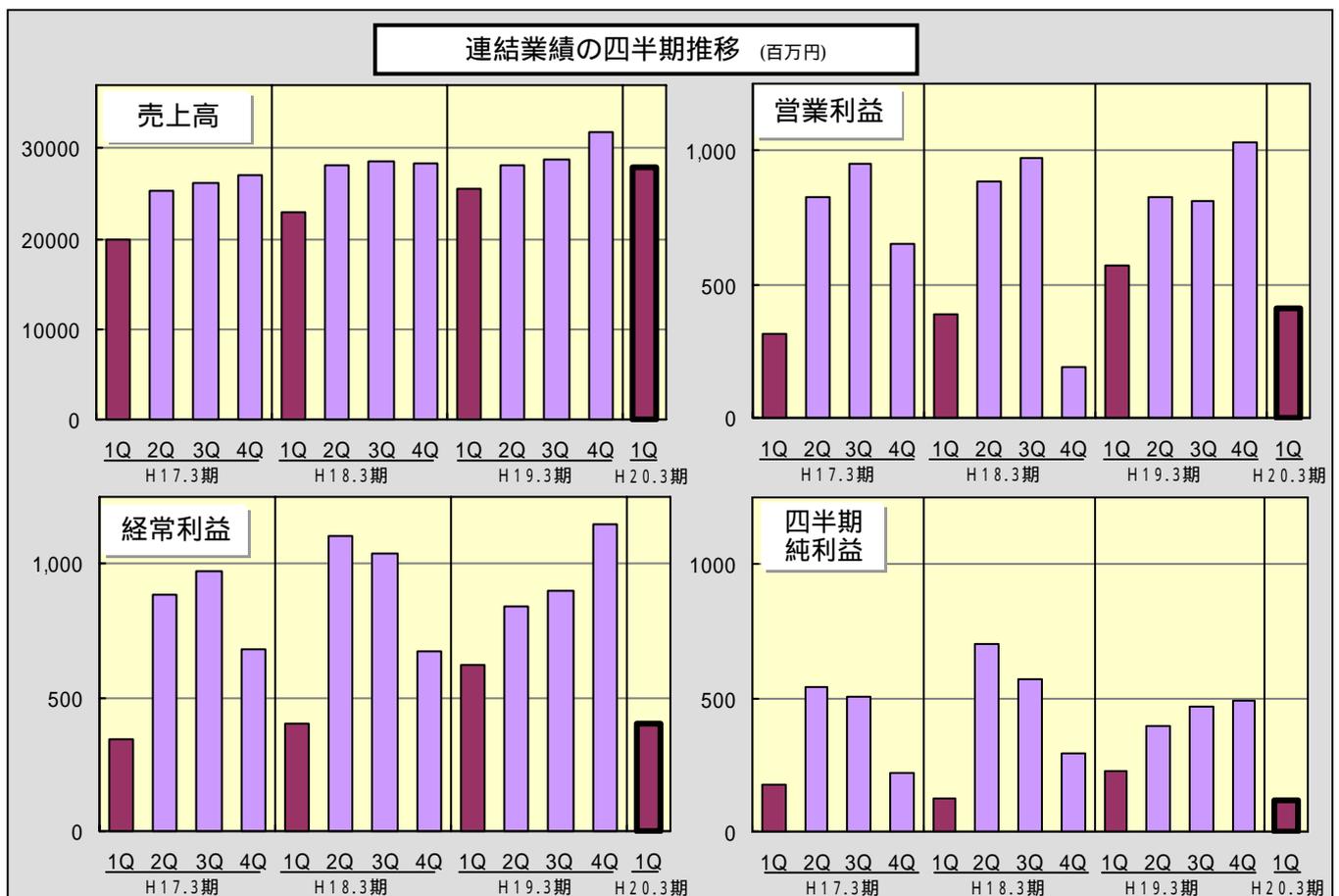
航空関連事業では、特に海外のエアライン向け中古航空機の販売、生活関連事業では、農水産物の輸入(加工)販売などで順調な実績をおさめました。また、顧客サービス事業では、不動産の販売などが順調に推移しましたが、空港店舗は成田空港のターミナル再編の影響などにより減収となりました。

これらにより、当第 1 四半期の売上高は 27,954 百万円と前年同期を上回りましたが、売上総利益率が比較的高い空港店舗の減収などにより、売上総利益は 5,663 百万円と前年同期を下回りました。

また、当四半期においては、コンピューター基幹システムの開発・更新に伴う臨時的な社外役務費や、同システムの減価償却費の発生などにより一般管理費が増加し、営業利益は 412 百万円、これに持分法投資損失等の営業外収支を加減した経常利益は 399 百万円、第 1 四半期純利益は 115 百万円と、いずれも前年同期を下回りました。

尚、中間期連結業績予想に占める進捗率としては、営業利益で 27%、純利益で 17%程度の水準となり、過年度の傾向を若干下回るものの、事業の特性として、例年、夏期の旅行シーズン、贈答期(中元、歳暮、クリスマス)、年末などを含む、第 2 および第 3 四半期の利益の比重が高いことから、現時点においては平成 19 年 5 月 8 日発表の平成 20 年 3 月期連結及び個別業績予想(中間期・通期)の修正はございません。

連結業績 (金額単位:百万円)	前第 1 四半期 (平成 18 年 4 ~ 6 月)	当第 1 四半期 (平成 19 年 4 ~ 6 月)	前期比(%)	前期差
売上高	25,476	27,954	109.7	2,477
売上総利益	5,724	5,663	98.9	60
営業利益	573	412	71.9	161
経常利益	624	399	64.0	224
四半期純利益	227	115	50.9	111



## セグメント別の概況

セグメント別の概況につきましては、以下のとおりです。尚、各業績数値は、セグメント間売上高または振替高及び配賦不能営業費用を調整前の金額です。

### 航空関連事業

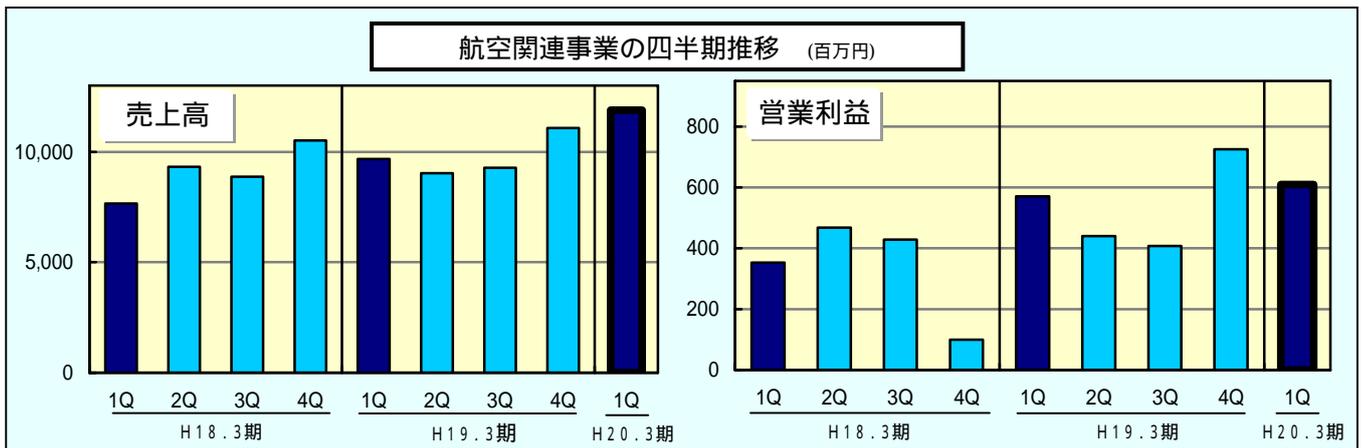
航空機・機材関連では、機械・資材・車両の販売などが伸び悩みましたが、中古航空機の販売において、新たな販路の開拓に努め、大型機を中心に海外のエアライン向けの販売で順調な実績をおさめました。

また、航空機エンジン部品の保管供給ビジネス\*においては、国内重工業向けの部品供給が、前期に引き続き順調に推移いたしました。

\*航空機エンジン修理に必要な輸入部品を在庫（保管）し、品質を管理しながらタイムリーに納入する供給システム

これらの結果、売上高 11,883 百万円、営業利益 610 百万円と、いずれも前年同期を上回りました。

航空関連事業 (金額単位:百万円)	前第1四半期 (平成18年4～6月)	当第1四半期 (平成19年4～6月)	前期比(%)	前期差
売上高	9,683	11,883	122.7	2,200
営業利益	571	610	107.0	39



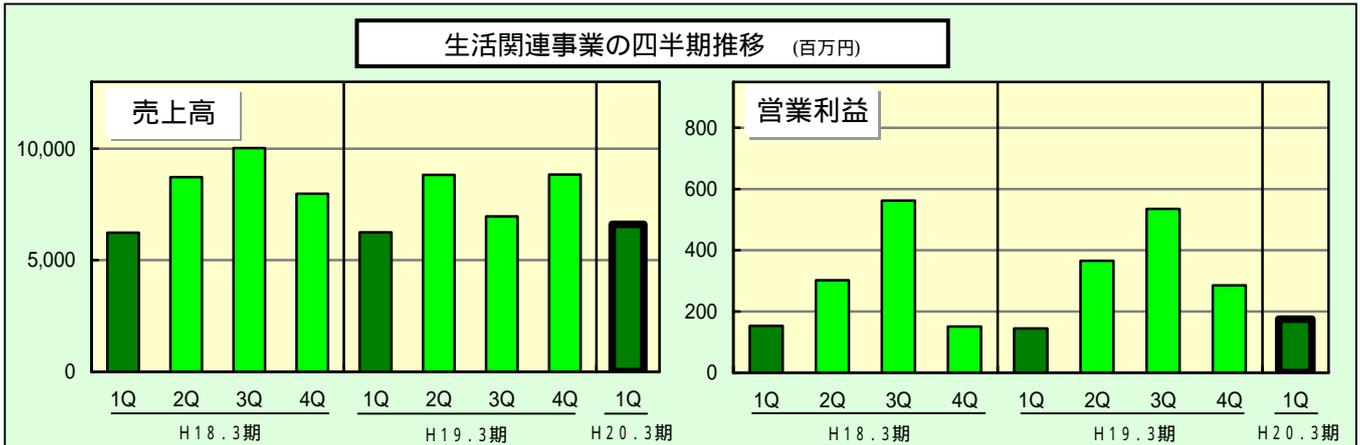
### 生活関連事業

フーズ・ビバレッジ関連では、輸入青果物（生鮮果実、冷凍加工野菜等）の販売でパプリカ、マンゴーなど、また、輸入冷凍水産物の販売ではサーモン、サバなどの取り扱いが順調に推移し、前期に引き続き順調な実績をおさめました。加工食品では、オリジナル商品の「JAL セレクション デスカイシリーズ」において、一部商品が伸び悩んだものの、本年3月にリニューアルの「カレーデスカイ」「ハヤシデスカイ」の販売が概ね順調に推移いたしました。その他、輸入ワインの卸販売などでも順調な実績をおさめました。

通信販売関連では、カタログ通販において、航空機内カタログ「JAL SHOP」で受注減が見られましたが、一方で、インターネット通販の「JAL ショッピング」などで売上を拡大し、総じて概ね堅調に推移いたしました。

これらの結果、売上高 6,608 百万円、営業利益 175 百万円と、いずれも前年同期を上回りました。

生活関連事業 (金額単位:百万円)	前第1四半期 (平成18年4～6月)	当第1四半期 (平成19年4～6月)	前期比(%)	前期差
売上高	6,245	6,608	105.8	363
営業利益	145	175	120.9	30



**顧客サービス事業**

ライフデザイン関連では、不動産事業において、企業向け社宅寮のサブリース、旧社宅寮物件の再販、また、空港周辺不動産の施設管理などで順調な実績をおさめました。また、リゾート分野では、「JAL バケーションズ<sup>\*</sup>」の販売サポートにおいて、ハワイの物件を中心に順調に推移いたしました。

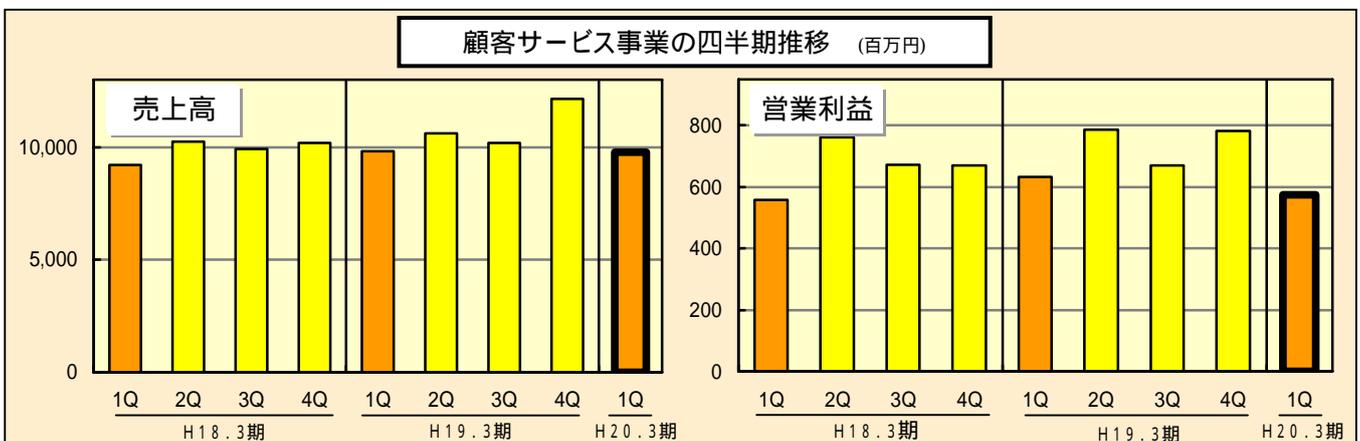
\*ハワイなどのリゾート不動産物件の所有権等を週単位で販売するリゾート共有(タイムシェア)システム

店舗関連では、国内空港店舗「BLUE SKY」において、平成 18 年 6 月 2 日の成田空港ターミナル再編(第 1 ターミナルグランドオープンに伴う第 2 ターミナル利用者数減少)の影響により、成田空港店(第 2 ターミナル)で前年同期実績を下回りました。その他、機内持込制限など航空及び空港セキュリティ強化の影響等もあり、羽田空港店なども低調に推移し成田空港店の減収をカバーできず、BLUE SKY 事業は減益となりました。また、成田空港免税店「JAL-DFS<sup>\*</sup>」においても、同じくターミナル再編の影響等により減収減益となりました。尚、当該影響は、月次業績では 4 月および 5 月(前期は再編前)の減収が顕著で、6 月(前期も再編後)単月では、JAL-DFS、BLUE SKY とも増収をおさめていることから、第 2 四半期以降においては堅調な推移を見込んでいます。

\*連結子会社 (株)JAL-DFS が運営

これらの結果、売上高 9,788 百万円、営業利益 575 百万円と、いずれも前年同期を下回りました。

顧客サービス事業 (金額単位:百万円)	前第 1 四半期 (平成 18 年 4 ~ 6 月)	当第 1 四半期 (平成 19 年 4 ~ 6 月)	前期比(%)	前期差
売上高	9,824	9,788	99.6	36
営業利益	632	575	91.0	57



## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期末(平成 19 年 6 月 30 日)の総資産は、配当金の支払や法人税等の納付により現金及び未払法人税が減少した一方で、販売用不動産などたな卸資産の取得や運転資金としての借入金の増加等により、前期末と比べ 286 百万円増加し 42,632 百万円(前期末比 100.7%)になりました。この結果、自己資本比率は 33.6%になり、前連結会計年度末と比べ 0.8 ポイント低下いたしました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第 1 四半期の連結業績は増収減益となり、上記「連結経営成績に関する定性的情報」に記載のとおり、中間期連結業績予想に占める進捗率としては、営業利益で 27%、純利益で 17%程度の水準と、過年度の傾向を若干下回りました。一方で、事業の特性として、例年、夏期の旅行シーズン、贈答期(中元、歳暮、クリスマス)、年末などを含む、第 2 及び第 3 四半期の利益の比重が高く、ハイシーズンにおける空港店舗売上などが中間期及び通期業績に与える影響が大きいことから、現時点においては平成 19 年 5 月 8 日発表の平成 20 年 3 月期連結及び個別業績予想(中間期・通期)の修正はございません。

航空関連事業においては、海外のエアラインへ向けた中古航空機の販売で、今後も順調な実績が見込まれるほか、航空機部品の保管供給ビジネスの拡充、グループのノウハウを有効に活用した国内外エアライン向け機械・資材類の販売など、基盤の拡大をはかってまいります。

生活関連事業においては、通信販売において、季節商品やオリジナル商品開発の推進、売上総利益率の向上、航空機内カタログ「JAL SHOP」の販促施策、DM カタログ顧客規模の拡大などに取り組み、さらに、新システム稼動に伴うマーケティング力(商品・顧客分析、カタログ配付精度、顧客サービス)の向上と、効率化(業務オンライン化、データコスト低減等)の実現などにより増益をはかってまいります。

顧客サービス事業においては、空港店舗「BLUE SKY」で、オリジナルの「空弁(そらべん)」や「空スイーツ」の開発やプロモーションを強化し、商品の差別化、集客力の向上をはかるとともに、順調に推移している新千歳空港店を中心に、一層の運営効率の向上などで増益をはかってまいります。また、「JAL バケーションズ」では、ハワイの物件のラインナップ拡充による増益を見込みます。

以上により、通期の業績につきましては、期初予想のとおり増収増益を予想し、中期計画の確実な達成を目指してまいります。

尚、平成 19 年 3 月、当社の企業価値向上を目的とする株式異動により、新たに双日(株)が筆頭株主(持株比率 30%)となりました。これに伴い、各事業における今後の施策に際しては、JAL グループに加え双日グループのリソースや機能を最大限活用した相乗効果の創出をはかり、中長期的な事業の発展を目指してまいります。

連結業績 (金額単位:百万円)	前期実績 (平成 19 年 3 月期)	当期予想 (平成 20 年 3 月期)	前期比(%)	前期差
売上高	114,133	120,000	105.1	5,866
営業利益	3,246	3,500	107.8	253
経常利益	3,516	3,700	105.2	183
当期純利益	1,579	1,850	117.7	270

#### 4. その他

期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

会計処理の方法における簡便な方法の採用

連結会社の個別財務諸表上の税金費用については、法定実効税率を用いて計算しています。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

（たな卸資産の評価方法）

当社のたな卸資産の評価基準及び評価方法については、従来、主として先入先出法による原価法によっていましたが、当期から移動平均法による原価法に変更しています。この変更は、当期より新基幹システムが稼動したことを機に、業務効率の向上を図るとともに価格変動を平均化し期間損益をより適正に表示することを目的としています。また、個々の取引毎に損益計算を行うことが合理的な商品については、従来通り個別法を採用しております。尚、この変更の当四半期業績に与える影響額は軽微です。

## 5. (要約) 四半期連結財務諸表

## (1) (要約) 四半期連結貸借対照表

区分	当第1四半期末 (平成19年6月30日)		前連結会計年度末 (平成19年3月31日)		対前期末比	前第1四半期末 (平成18年6月30日)
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	増減 (千円)	金額 (千円)
(資産の部)						
流動資産						
現金及び預金	5,264,642		5,688,228			4,682,821
受取手形及び売掛金	13,750,360		13,468,655			11,161,178
たな卸資産	6,318,672		6,117,340			5,759,268
その他	4,595,110		4,313,809			3,523,336
貸倒引当金	29,572		29,364			43,542
流動資産合計	29,899,213	70.1	29,558,670	69.8	340,542	25,083,062
固定資産						
有形固定資産	5,120,904	12.0	5,210,276	12.3		5,284,890
無形固定資産	1,945,897	4.6	1,861,775	4.4		1,320,893
投資その他の資産						
投資有価証券	2,754,571		2,794,350			2,497,173
長期貸付金	499,480		530,925			552,014
長期差入保証金	1,886,687		1,860,995			1,881,576
その他	627,343		640,329			747,081
貸倒引当金	101,996		111,385			133,129
投資その他の資産合計	5,666,085	13.3	5,715,214	13.5		5,544,716
固定資産合計	12,732,888	29.9	12,787,266	30.2	54,377	12,150,500
資産合計	42,632,102	100.0	42,345,936	100.0	286,165	37,233,563
(負債の部)						
流動負債						
支払手形及び買掛金	13,904,022		13,561,543			11,090,439
短期借入金	4,172,050		3,826,728			4,111,677
未払費用	2,273,916		2,407,705			1,811,647
その他	3,516,560		3,241,847			2,093,632
流動負債合計	23,866,550	56.0	23,037,825	54.4	828,724	19,107,397
固定負債						
長期借入金	2,833,723		2,963,320			3,290,959
退職給付引当金	76,035		112,767			239,951
その他	681,344		716,445			625,873
固定負債合計	3,591,103	8.4	3,792,533	9.0	201,430	4,156,785
負債合計	27,457,653	64.4	26,830,359	63.4	627,294	23,264,183
(純資産の部)						
株主資本						
資本金	2,558,550	6.0	2,558,550	6.0	-	2,558,550
資本剰余金	711,421	1.7	711,421	1.7	-	711,363
利益剰余金	11,022,310	25.8	11,289,771	26.7	267,460	9,937,258
自己株式	9,788	0.0	9,677	0.0	110	9,396
株主資本合計	14,282,493	33.5	14,550,065	34.4	267,571	13,197,774
評価・換算差額等						
その他有価証券評価差額金	14,050	0.0	13,707	0.0	343	19,474
繰延ヘッジ損益	22,540	0.1	4,068	0.0	18,471	7,714
為替換算調整勘定	4,226	0.0	7,144	0.0	11,371	49,597
評価・換算差額等合計	32,364	0.1	24,920	0.0	7,443	37,838
少数株主持分	859,590	2.0	940,591	2.2	81,001	809,443
純資産合計	15,174,448	35.6	15,515,577	36.6	341,128	13,969,380
負債純資産合計	42,632,102	100.0	42,345,936	100.0	286,165	37,233,563

## (2) (要約) 四半期連結損益計算書

区分	当第1四半期 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)		前第1四半期 (自平成18年4月1日 至平成18年6月30日)		対前年同期比 増減 (千円)	前連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日) 金額 (千円)
	金額 (千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)		
売上高	27,954,061	100.0	25,476,322	100.0	2,477,739	114,133,497
売上原価	22,290,418	79.7	19,752,205	77.5	2,538,213	89,602,555
売上総利益	5,663,642	20.3	5,724,117	22.5	60,474	24,530,941
販売費及び一般管理費						
給料及び手当	2,035,992		2,043,322			8,067,072
退職給付費用	50,142		44,448			214,532
賃借料	1,152,576		1,179,064			4,784,117
減価償却費	162,465		93,182			396,602
役員退職慰労引当金繰入額	15,148		12,830			58,223
その他	1,834,856		1,777,773			7,764,235
販売費及び一般管理費合計	5,251,182	18.8	5,150,621	20.2	100,560	21,284,783
営業利益	412,460	1.5	573,495	2.3	161,035	3,246,158
営業外収益						
受取配当金	7,733		11,395			40,982
持分法による投資利益	-		23,967			162,429
為替差益	-		8,321			6,846
その他	36,874		39,767			251,352
営業外収益合計	44,607	0.1	83,452	0.3	38,844	461,611
営業外費用						
支払利息	24,326		21,556			132,492
持分法による投資損失	23,663		-			-
為替差損	89		-			-
その他	9,115		10,571			58,835
営業外費用合計	57,194	0.2	32,128	0.1	25,066	191,328
経常利益	399,873	1.4	624,819	2.5	224,946	3,516,441
特別利益	23,005	0.1	4,399	0.0	18,606	28,483
特別損失	36,065	0.1	31,053	0.1	5,012	378,697
税金等調整前第1四半期 (当期)純利益	386,812	1.4	598,165	2.4	211,353	3,166,227
税金費用	233,511	0.9	322,520	1.3	89,009	1,402,979
少数株主利益	37,622	0.1	48,331	0.2	10,708	183,420
第1四半期(当期)純利益	115,678	0.4	227,314	0.9	111,635	1,579,827

## (3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

前第一四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰 余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金	繰延 ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換 算差額等 合計		
前期末残高	2,558,550	711,363	9,992,376	9,284	13,253,004	22,663	-	51,101	28,437	881,358	14,105,924
当四半期変動額											
持分法適用関連 会社の増加			24,082		24,082						24,082
剰余金の配当			306,515		306,515						306,515
四半期純利益			227,314		227,314						227,314
自己株式の取得				111	111						111
株主資本以外の 項目の当四半期 変動額(純額)						3,189	7,714	1,504	9,400	71,914	81,314
当四半期変動額 合計			55,118	111	55,230	3,189	7,714	1,504	9,400	71,914	136,544
当四半期末残高	2,558,550	711,363	9,937,258	9,396	13,197,774	19,474	7,714	49,597	37,838	809,443	13,969,380

当第一四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰 余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金	繰延 ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換 算差額等 合計		
前期末残高	2,558,550	711,421	11,289,771	9,677	14,550,065	13,707	4,068	7,144	24,920	940,591	15,515,577
当四半期変動額											
剰余金の配当			383,139		383,139						383,139
四半期純利益			115,678		115,678						115,678
自己株式の取得				110	110						110
株主資本以外の 項目の当四半期 変動額(純額)						343	18,471	11,371	7,443	81,001	73,557
当四半期変動額 合計			267,460	110	267,571	343	18,471	11,371	7,443	81,001	341,128
当四半期末残高	2,558,550	711,421	11,022,310	9,788	14,282,493	14,050	22,540	4,226	32,364	859,590	15,174,448

## 6. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年6月30日)						
	航空関連事業 (千円)	生活関連事業 (千円)	顧客サービス 事業(千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益						
売上高						
1. 外部顧客に対する売上高	9,433,888	6,217,550	9,824,883	25,476,322	-	25,476,322
2. セグメント間の内部売上高 又は振替高	249,369	28,051	-	277,421	(277,421)	-
計	9,683,257	6,245,601	9,824,883	25,753,743	(277,421)	25,476,322
営業費用	9,112,244	6,100,135	9,192,558	24,404,938	497,888	24,902,826
営業利益	571,012	145,466	632,325	1,348,805	(775,310)	573,495

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、販売の対象及び方法、取扱商品、損益集計区分を考慮し、区分しています。

2. 各事業の主な商品及び販売形態

- (1) 航空関連事業 ..... 航空機、航空機部品、航空燃料、機械・資材、航空客室用品、航空機内販売品、繊維用品 【業務受託、卸販売等】
- (2) 生活関連事業 ..... 雑貨・宝飾、農水産物、加工食品、贈答用食品、ワイン・洋酒、印刷メディア 【カタログ・WEB通販、卸販売等】
- (3) 顧客サービス事業..... ライフデザイン(保険・FP、不動産等) 空港店舗「BLUE SKY」、空港免税店「JAL-DFS」

3. 当第1四半期における営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は774,196千円であり、その主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用です。

当第1四半期 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)						
	航空関連事業 (千円)	生活関連事業 (千円)	顧客サービス 事業(千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び営業損益						
売上高						
1. 外部顧客に対する売上高	11,584,075	6,581,353	9,788,631	27,954,061	-	27,954,061
2. セグメント間の内部売上高 又は振替高	299,231	27,512	-	326,744	(326,744)	-
計	11,883,307	6,608,866	9,788,631	28,280,805	(326,744)	27,954,061
営業費用	11,272,350	6,432,972	9,213,358	26,918,681	622,919	27,541,601
営業利益	610,957	175,894	575,273	1,362,124	(949,664)	412,460

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、販売の対象及び方法、取扱商品、損益集計区分を考慮し、区分しています。

2. 各事業の主な商品及び販売形態

- (1) 航空関連事業 ..... 航空機、航空機部品、航空燃料、機械・資材、航空客室用品、航空機内販売品、繊維用品 【業務受託、卸販売等】
- (2) 生活関連事業 ..... 雑貨・宝飾、農水産物、加工食品、贈答用食品、ワイン・洋酒、印刷メディア 【カタログ・WEB通販、卸販売等】
- (3) 顧客サービス事業..... ライフデザイン(保険・FP、不動産等) 空港店舗「BLUE SKY」、空港免税店「JAL-DFS」

3. 当第1四半期における営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は949,515千円であり、その主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用です。